

対策内容

- ・当該交差点は、事故危険箇所としての整備区間に指定されており、死傷事故率が947.0件/億台キロ、死傷事故件数が46件/4年（ともにH23～26年事故）であり、交通事故が多発。
- ・当該交差点において、追突防止のための減速路面標示の設置、乱横断防止のための門型ラバーポールの設置など、様々な対策を実施（工事期間：H27.12.19～H28.3.20）。



対策後

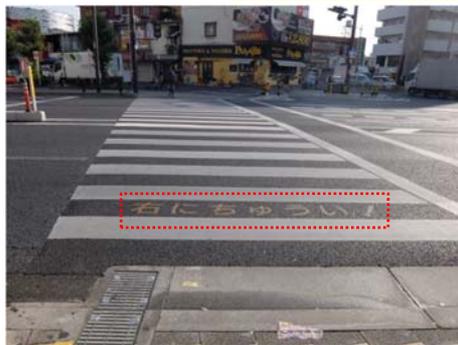
対策①：減速路面標示・路面標示「追突注意」

【整備効果】→次頁参照



対策②：路面標示「右にちゅうい」の設置

【整備効果】→次頁参照



対策③：交差点のコンパクト化(隅切り改良)



対策④：交差点内高輝度区画線

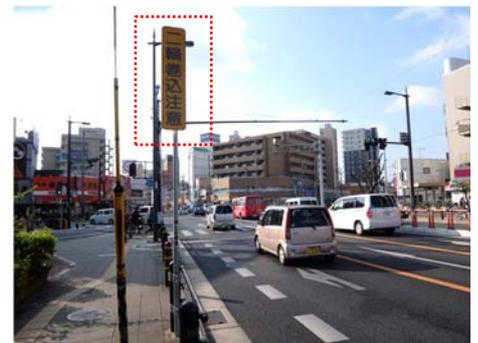


対策⑤：門型ラバーポールの設置

【整備効果】→次頁参照

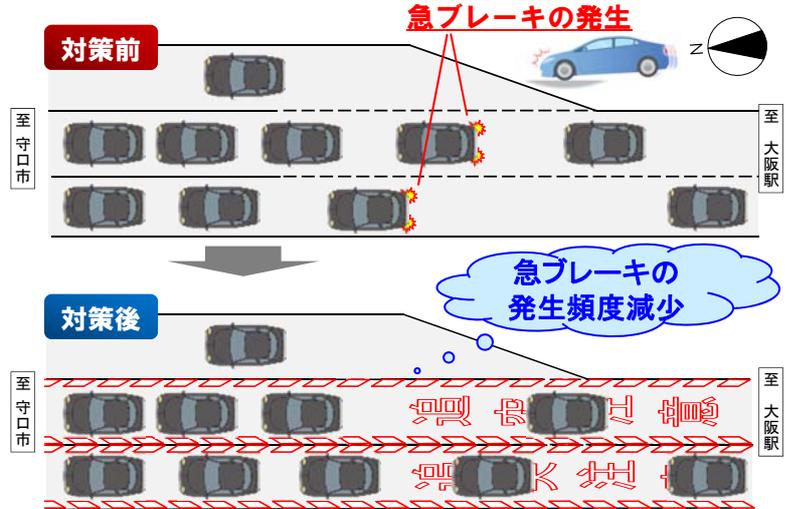
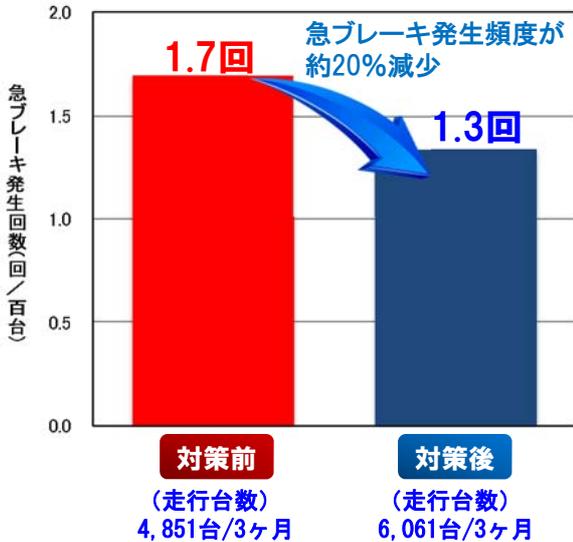


対策⑥：法定外看板「二輪巻き込み注意」の設置



整備効果

【効果1】減速路面標示・路面標示「追突注意」により、急ブレーキの発生頻度が減少！



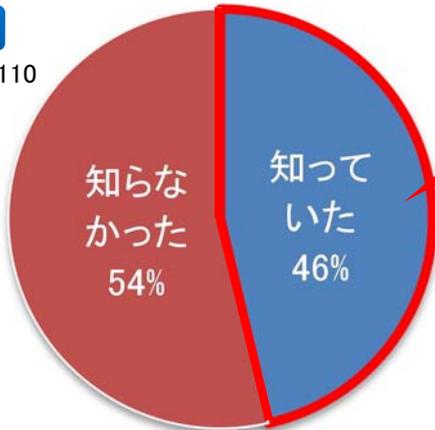
※使用データ：ETC2.0プローブデータ（事前 H27.9-11、事後 H28.4-6）

【効果2】路面表示「右にちゅうい」を、歩行者・自転車の約半数が認知！

交差点を利用する歩行者・自転車の46%が「右にちゅうい」を認識。さらに、認識している方の57%が右側に注意するように意識付け。

対策後

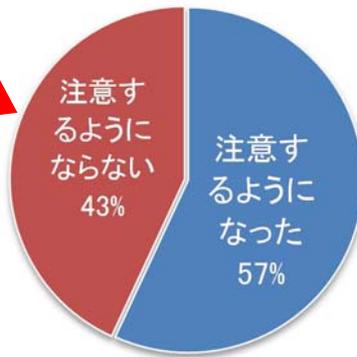
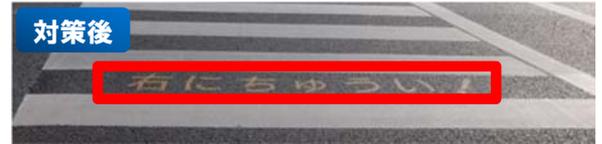
回答数:110



〔設問〕一昨年、こちらの交差点に「右にちゅうい」という路面標示が設置されたのをご存じでしたか。

対策後

回答数:51



〔設問〕「右にちゅうい」の路面標示によって、横断中に車に注意するようになりましたか。

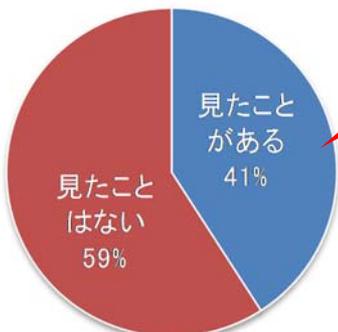
※使用データ：大阪国道実施アンケート調査（H29.1.18）

【効果3】門型ラバーボールの設置により、乱横断が解消！

交差点利用者の40%が対策前に見たことがある乱横断は、対策後に発生せず。

対策前

回答数:110



〔設問〕中央帯にラバーボールが設置されましたが、対策前に乱横断を見たことがありますか。

対策後



※使用データ：大阪国道実施ビデオ調査（H29.1.18 7:00~10:00(3時間)）

※使用データ：大阪国道実施アンケート調査（H29.1.18）